

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第5週[1月31日～2月6日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>  
 E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：インフルエンザ、水痘、マイコプラズマ肺炎

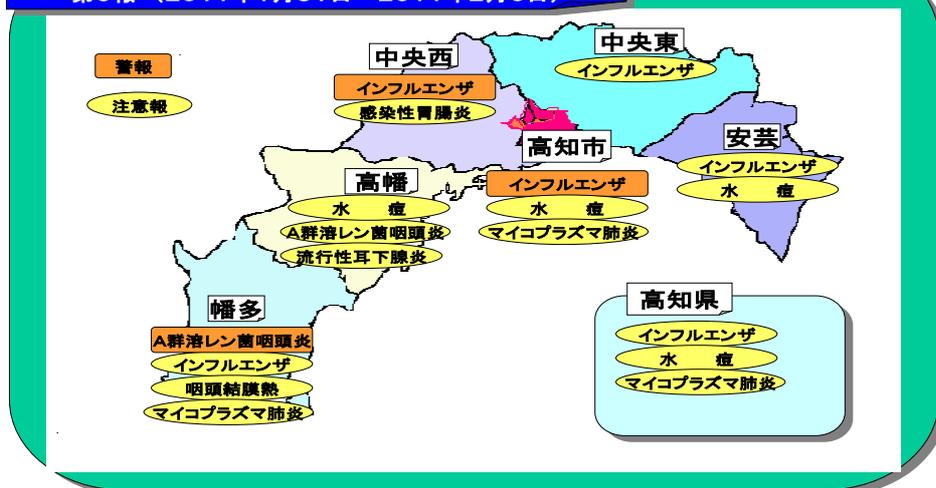
- 週のはじめは今冬一番の冷え込みとなったが、その後は気温が上がり、日中は過ごしやすかった。
- インフルエンザ（高知市：警報→警報，中央西：注意報→警報，中央東：注意報→注意報，幡多：注意報→注意報，安芸：注意報→注意報）は中央東でやや減少したが，その他の地域で増加し，総数はさらに増加した。
- 感染性胃腸炎（中央西：注意報）は中央東と安芸で減少したが，その他の地域で増加し，総数はやや増加した。第2週以降，緩やかな増加傾向が続いている。また，今シーズン初めてRotavirusが2件検出されており，今後も注意が必要である。
- 水痘（高幡：警報→注意報，高知市：注意報→注意報，安芸：注意報→注意報）は高知市と中央東で増加し，総数はやや増加した。再び注意報値を超したが，例年6月頃までは流行がみられており，今後も注意報値前後での報告数で推移すると思われる。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（幡多：警報→警報，高幡：注意報→注意報）は地域毎にみて，大きな変動はなく，総数は注意報値をやや下回る報告数となっているが，幡多では警報値を，高幡では注意報値を超している。

上位疾患構成図



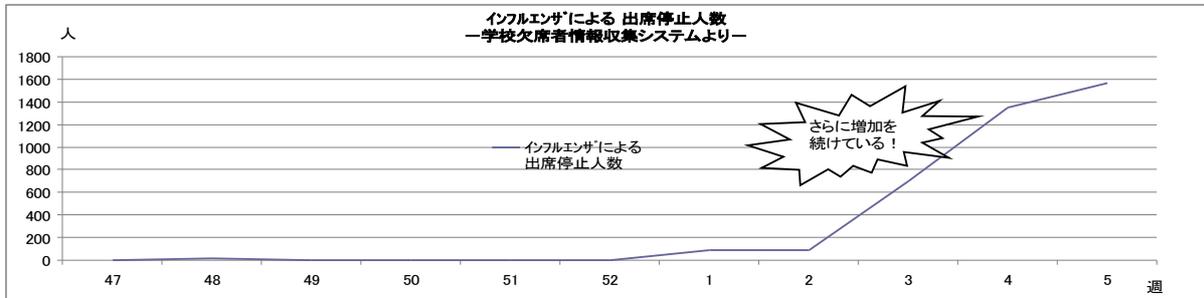
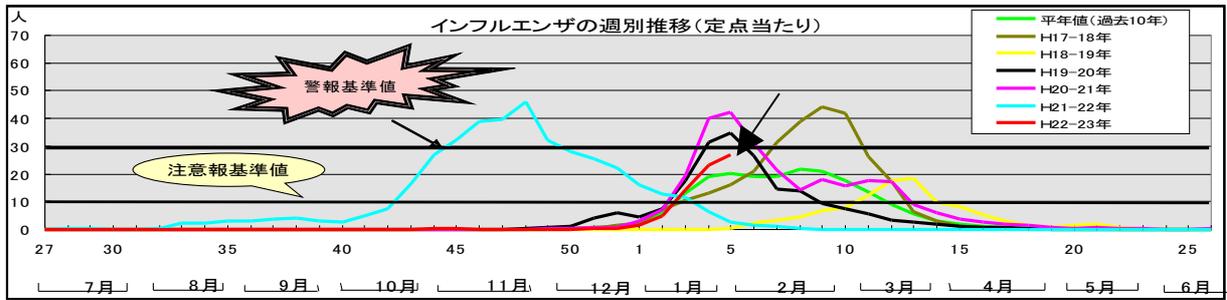
## 地域別感染症注意報・警報発生状況

第5報 (2011年1月31日～2011年2月6日)



### インフルエンザ：今週26.90 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

地域毎にみると，高知市に加え中央西で警報値を超し，高幡を除く地域で注意報値を超している。また，年齢別でみると，5～9歳が23.5%，10～14歳が17.9%，1～4歳が15.7%の順で報告が多い。今週はAH1pdmが16件検出されている。また，施設別発生状況では，1保育所，12小学校，4中学校，1高等学校で患者数193名となり，学級・学年閉鎖，休校(園)の措置が取られた。なお，検査速報として，2月5日に幡多地域で採取された検体から今シーズン初めてInfluenzavirus B が検出された。今後の推移に注意が必要である。



「学校欠席者情報収集システム」…高知県教育委員会で、学校における欠席等の情報を即時に収集するシステムとして、平成21年11月より全県的（高知市，私学，幼稚園を除く）に導入されている。

○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
5	百日咳	12歳 女	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
2	上気道炎	3ヵ月 女	高知市	<i>Adenovirus 2</i>
4	感染性胃腸炎	1歳 男	高知市	<i>Norovirus G II</i>
4	感染性胃腸炎	1歳 男	高幡	<i>Norovirus G II</i>
5	感染性胃腸炎	9ヵ月 女	高知市	<i>Norovirus G II</i>
5	感染性胃腸炎	5歳 男	中央東	<i>Rotavirus-A</i>
5	感染性胃腸炎	1歳 男	高幡	<i>Norovirus G II</i>
5	感染性胃腸炎	1歳 男	高幡	<i>Norovirus G II</i>
5	感染性胃腸炎	2歳 女	高幡	<i>Rotavirus-A</i>

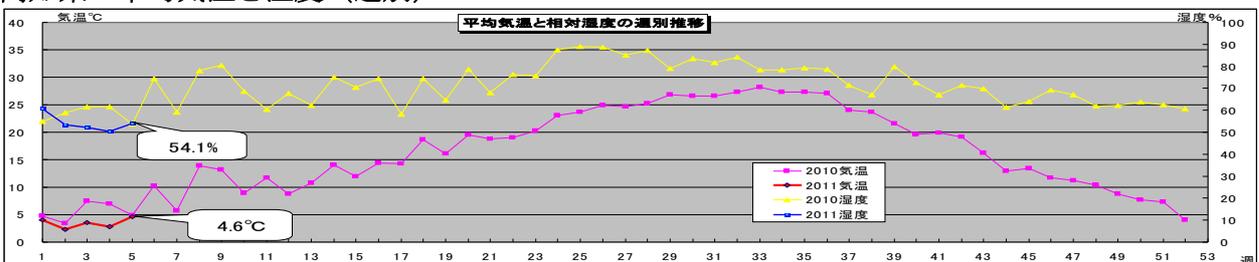
インフルエンザ（Influenza virus AH1pdmのみ）が16件検出された。

地域	年齢区分								総計	
	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳		60歳以上
高知市		4	2							6
高幡	1	1			3		1	1	3	10
総計	1	5	2		3		1	1	3	16

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 1例（68歳男）《高知市》（今年15例）  
 4類感染症：レジオネラ症 1例（68歳女）《高知市》（今年2例）  
 動物感染症：鳥インフルエンザ（H5N1）の鳥類 1例（オシドリ）《中央西》

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：アデノウイルス感染症 1例（3歳女） マイコプラズマ肺炎 1例（14歳女）  
 インフルエンザの32例中18例はA型陽性，14例はB型陽性  
 《渭南病院小児科》：インフルエンザの105例中17例はA型陽性（うち予防接種歴ありは5例，なしは12例），  
 88例はB型陽性（うち予防接種歴ありは31例，なしは57例）  
 アデノウイルス咽頭炎 3例（1歳女，4歳男女）  
 《こいけクリニック》：インフルエンザの14例中11例はA型陽性，3例はB型陽性 肺炎の小児が多数

《幡多けんみん病院内科》：インフルエンザの5例中3例はA型陽性  
《松谷内科》：インフルエンザの4例中3例はA型陽性，1例はB型陽性，全て予防接種歴なし

#### 高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの20例は全てA型陽性，うち4例は予防接種歴あり  
ロタウイルスによる感染性胃腸炎が増加傾向にある

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの12例は全てA型陽性

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの5例は全てA型陽性

#### 中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの40例は全てA型陽性，うち14例は予防接種歴あり

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの38例中37例（うち1例は須崎市，1例はいの町）A型陽性，  
1例はB型陽性，うち6例は予防接種歴あり  
感染性胃腸炎の1例（12歳女）は土佐市

《岡本内科》：インフルエンザの25例は全てA型陽性，うち4例は予防接種歴あり

#### 高知市：

《矢野小児科》：インフルエンザの36例中9例は予防接種歴あり

《福井小児科内科》：インフルエンザの35例は全てA型陽性，うち6例は予防接種歴あり

《三愛病院小児科》：インフルエンザの23例中1例（7歳女）はB型陽性

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの90例中89例はA型陽性，1例はB型陽性，うち19例は  
予防接種歴あり アデノウイルス陽性 3例（0,3歳女，5歳男）

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの34例中10例は予防接種歴あり

《依岡内科》：インフルエンザの15例中3例は予防接種歴あり

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの8例は全てA型陽性，うち2例は予防接種歴あり

《細木病院内科》：インフルエンザの22例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは6例，なしは15例

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの43例中41例はA型陽性

《近森病院内科》：インフルエンザの72例中55例はA型陽性，予防接種歴ありは11例，なしは20例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの14例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは1例

#### 中央東：

《高知大学医学部附属病院小児科》：インフルエンザの13例中5例はA型陽性，1例はB型陽性

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの7例中6例はA型陽性，1例はB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの59例は全てA型陽性 ロタウイルス胃腸炎 2例  
ヘルペス性歯肉口内炎 2例（2歳女，3歳男）

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの12例中11例はA型陽性，1例はB型陽性，うち予防接種歴ありは  
4例，なしは8例

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの9例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは1例

《いちほら内科小児科》：インフルエンザの53例中51例はA型陽性，2例はB型陽性

《JA高知病院内科》：インフルエンザの30例は全てA型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの46例中39例はA型陽性，7例はB型陽性

《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの22例中3例は予防接種歴あり

#### 安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの18例中8例はA型陽性，予防接種歴なし

《田野病院小児科》：インフルエンザの41例は全てA型陽性  
感染性胃腸炎の1例（1歳男）はロタウイルス陽性

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの5例は全てA型陽性，予防接種歴なし

### 全国情報第3週（1/17～1/23）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核315例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症12例（有症者6例、うちHUSなし）

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎6例、つつが虫病2例、デング熱2例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎5例（B型3例、C型1例、サイトメガロウイルス1例）、急性脳炎  
6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群17例（AIDS 4例、無症候10例、そ  
の他3例）、梅毒9例、風しん3例、麻しん8例

報告遅れ：エキノコックス症6例、急性脳炎5例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、バンコマイシン耐  
性腸球菌感染症2例、風しん2例

#### ◆インフルエンザ

2011年第3週の定点当たり報告数は26.41（報告数130,515）となり、第42週以降14週連続で増加が続いて  
いる。都道府県別では宮崎県（64.49）、沖縄県（63.17）、福岡県（48.97）の順となっている。前週に引き続  
き全ての都道府県で増加がみられ、特に九州地方、関東地方に流行が本格化している地域が多い。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診したインフルエンザ  
患者数を推計すると、2011年第3週は149万人（暫定値）となった。年齢群別では5～9歳約27万人  
（18.2%）、20代約23万人（15.5%）、10～14歳約20万人（13.5%）、30代約20万人（13.5%）、0～4歳約17万人  
（11.5%）の順となっており、第3週は特に14歳以下の年齢層の増加が大きかった。

2010年第36週～2011年第3週までの期間中に国内では2,848検体のインフルエンザウイルスの検出が報告  
されており、AH1pdm 1,717件、AH3亜型（A香港型）1,033件、B型98件とAH1pdmが最多を占めている。一方、2010  
年第51週～2011年第3週までの直近の5週間では、総検出報告数1,550検体中AH1pdm 1,240件（80.0%）、AH3亜  
型279件（18.0%）、B型31件（2.0%）であり、AH1pdmが8割を占めている。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(4週)	高知県(5週未累計) H23/1/3~H23/2/6
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	64	286	562	152	38	189	1,291 ( 26.90 )	1,118 ( 23.29 )	157,381 ( 31.88 )	3,389 ( 70.60 )
小児科	咽頭結膜熱			4		1	5	10 ( 0.33 )	6 ( 0.20 )	1,093 ( 0.35 )	49 ( 1.63 )
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	4	15	5	4	22	51 ( 1.70 )	54 ( 1.80 )	6,132 ( 1.95 )	233 ( 7.77 )
	感染性胃腸炎	22	62	94	37	14	45	274 ( 9.13 )	261 ( 8.70 )	28,238 ( 8.97 )	1,306 ( 43.53 )
	水痘	4	8	37	3	7	1	60 ( 2.00 )	50 ( 1.67 )	5,364 ( 1.70 )	341 ( 11.37 )
	手足口病		2	5				7 ( 0.23 )	10 ( 0.33 )	413 ( 0.13 )	30 ( 1.00 )
	伝染性紅斑		1					1 ( 0.03 )	4 ( 0.13 )	2,008 ( 0.64 )	16 ( 0.53 )
	突発性発疹		2	2	3	2	2	11 ( 0.37 )	8 ( 0.27 )	1,561 ( 0.50 )	47 ( 1.57 )
	百日咳				1			1 ( 0.03 )	1 ( 0.03 )	79 ( 0.03 )	5 ( 0.17 )
	ヘルパンギーナ							1 ( 0.03 )	3 ( 0.10 )	75 ( 0.02 )	10 ( 0.33 )
	流行性耳下腺炎			1	1	2		4 ( 0.13 )	2 ( 0.07 )	2,624 ( 0.83 )	14 ( 0.47 )
	RSウイルス感染症	10	10	38	2	3	9	72 ( 2.40 )	102 ( 3.40 )	2,267 ( 0.72 )	389 ( 12.97 )
眼科	急性出血性結膜炎									16 ( 0.02 )	( 0.00 )
	流行性角結膜炎			2				2 ( 0.67 )		377 ( 0.56 )	6 ( 2.00 )
基幹	細菌性髄膜炎								1 ( 0.14 )	11 ( 0.02 )	1 ( 0.14 )
	無菌性髄膜炎								2 ( 0.29 )	5 ( 0.01 )	2 ( 0.29 )
	マイコプラズマ肺炎			3			1	4 ( 0.57 )	3 ( 0.43 )	196 ( 0.43 )	11 ( 1.57 )
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									5 ( 0.01 )	( 0.00 )
計 (小児科定点当たり人数)	101 ( 34.50 )	375 ( 38.71 )	763 ( 52.94 )	204 ( 47.73 )	71 ( 26.00 )	275 ( 40.63 )	1,789 ( 43.30 )				
前週 (小児科定点当たり人数)	83 ( 30.50 )	395 ( 41.00 )	724 ( 50.64 )	153 ( 36.07 )	67 ( 25.25 )	203 ( 31.83 )		1,625 ( 39.99 )	207,845	5,849 ( 151.94 )	

定点当たり

第5週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前週	全国(4週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	16.00	26.00	35.13	30.40	9.50	23.63	26.90	23.29	31.88
小児科	咽頭結膜熱			0.36		0.50	1.00	0.33	0.20	0.35
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.57	1.36	1.67	2.00	4.40	1.70	1.80	1.95
	感染性胃腸炎	11.00	8.86	8.55	12.33	7.00	9.00	9.13	8.70	8.97
	水痘	2.00	1.14	3.36	1.00	3.50	0.20	2.00	1.67	1.70
	手足口病		0.29	0.45				0.23	0.33	0.13
	伝染性紅斑		0.14					0.03	0.13	0.64
	突発性発疹		0.29	0.18	1.00	1.00	0.40	0.37	0.27	0.50
	百日咳					0.33		0.03	0.03	0.03
	ヘルパンギーナ						0.20	0.03	0.10	0.02
	流行性耳下腺炎			0.09	0.33	1.00		0.13	0.07	0.83
	RSウイルス感染症	5.00	1.43	3.45	0.67	1.50	1.80	2.40	3.40	0.72
眼科	急性出血性結膜炎									0.02
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.56
基幹	細菌性髄膜炎								0.14	0.02
	無菌性髄膜炎								0.29	0.01
	マイコプラズマ肺炎			0.60			1.00	0.57	0.43	0.43
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01
計 (小児科定点当たり人数)	34.50	38.71	52.94	47.73	26.00	40.63	43.30			
前週 (小児科定点当たり人数)	30.50	41.00	50.64	36.07	25.25	31.83		39.99		

## 2010年～2011年週報推移(定点当たり)

